

*Andreas Janke* アンドレアス・ヤンケ *violin*



アンドレアス・ヤンケは、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団の首席コンサートマスターです。彼はオリバー・シュナイダー・トリオのメンバーとして活躍しています。彼はミュンヘンでドイツ人と日本人の音楽家の家庭に生まれ、サルツブルクのモーツァルテウム音楽大学でイゴール・オジムに師事し、ハーゲン弦楽四重奏団で学びました。若き音楽家として、すでに国際コンクールで数々の賞を受賞しており、ブリュッセルのエリザベート王妃国際音楽コンクール、ウィーンのフリッツ・クライスラー国際コンクール、プラハの春国際音楽コンクールなどが含まれます。独奏家として、ウィーンのリックフェラインやコンツェルトハウス、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ミュンヘンのフィルハーモニー、ロンドンのウィグモア・ホール、チューリッヒのトーンハレ、台北の国立コンサートホールなど、ヨーロッパやアジアの主要な会場で公演しています。共演したオーケストラには、ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、アカデミー・オブ・セント・マーチン・イン・ザ・フィールズ、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などがあります。彼はまた、ソリストとしても室内楽の演奏者としても、国内外の多くの音楽祭で歓迎されています。また、室内楽のパートナーには、ユリア・フィッシャー、ニルス・メンケマイヤー、マルティン・グルビンガー、ヴィルデ・フラン、ヨルグ・ヴィドマン、マーティン・フレストなどがいます。彼は2013年にチューリッヒ芸術大学のヴァイオリンの教授に任命されました。彼は定期的に国内外でマスタークラスを行っています。アンドレアス・ヤンケは、メルセデス・ベンツ貸与のカルロ・ベルゴンツィ「Hozier, Andrews」1733-39のヴァイオリンを使用しています。